

- ・ HLC (ハイライト補正)

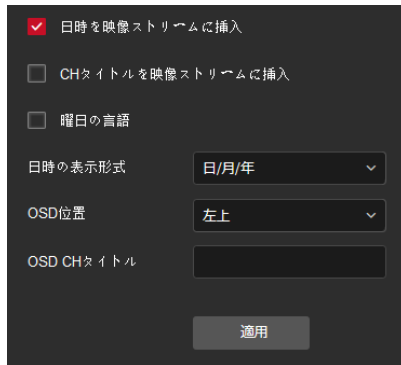
HLC は、映像中の強い光を抑制します。

オフ：オフにします。

オン：オンにします。

9.2 OSD

画面左側のサブメニューで[画像]をクリックしてさらに表示された[OSD]をクリックすると OSD の設定画面が表示されます。



- ・ 日時を映像ストリームに挿入

日時の情報を映像ストリームに重ねて挿入します。

- ・ CH タイトルを映像ストリームに挿入

CH タイトルを映像ストリームに重ねて挿入します。

- ・ 曜日の言語

曜日を表示する言語を選択します。英語か中国語が選べます。

- ・ 日時の表示形式

日時表示の並び順を設定します。年/月/日、月/日/年、日/月/年が選択できます。

- ・ OSD の場所

OSD を表示する場所を設定します。左上、右下が選択できます。

- ・ OSD CH タイトル

表示したい文字を入力します。日本語も入力できます。

10. イベント

10.1 イベント（通常のイベント）

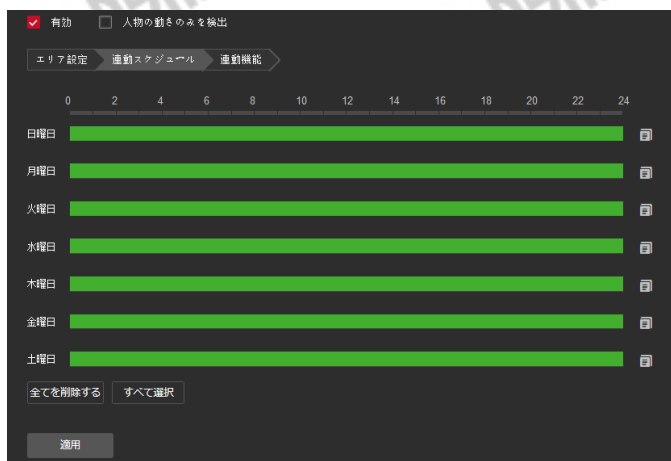
■ 動体検知録画（モーション検出）

画面左側のサブメニューで[普通のイベント]をクリックすると動体検知の設定画面が表示されます。



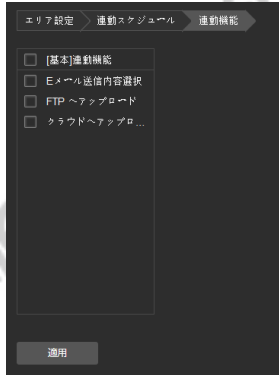
- ・ エリア設定
表示されたカメラの映像をマウスでクリックしながら移動すると赤い□が表示され、動体検出エリアを設定できます。再度クリックすると□を消去します。
- ・ □有効
チェックすると動体検出が有効になります。
- ・ □人物の動きのみを検出する。
チェックすると人物の動きのみを検出します。この機能は、人体検出機能のないカメラでは表示されません。

- ・すべて選択
クリックすると全画面を検出エリアに設定します。
- ・すべてクリア
クリックすると全ての検出エリアを消去します。
- ・感度
検出感度をスライドボリュームで 0 から 10 まで設定します。
- ・連動スケジュール
動作検出を行う時間帯を設定します。



マウスを使用して各曜日の緑のバーの長さを調整して[適用]をクリックして保存します。1 日の中を複数に区切ることもできます

- ・連動機能
検出時に行う動作を設定します。



- [基本]運動機能：全てのリンクにチェックを入れます。
- Eメール送信内容選択：メールサーバーにリンクしてメールを送信します。
- FTPへアップロード：FTPサーバーにリンクしてファイルを送信します。
- クラウドへアップロード：ファイルをクラウドに送信します。

10.2 プライバシーマスキング

映像の一部にマスクをかけます。



マウスを使用して映像のマスクをかけたい部分をクリックしたまま移動させると四辺形が描かれマスク領域が設定されます。その際に各リージョンの X,Y,W,H に座標の数値が入力されます。[削除]をクリックすると削除できます。最大3箇所まで設定できます。描画が完了したら[適用]をクリックして保存してください。

10.3 ビデオタンパリングアラーム

ビデオタンパリングアラームは、映像が大きく変化したことを検出して異常を通知する機能です。

画面全体の変化を検出するのでエリア設定は、ありません。



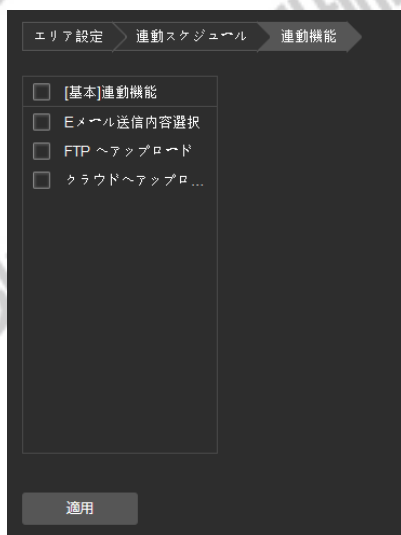
- 有効：チェックするとビデオタンパリングアラーム機能が有効になります。感度：0、1、2から選択します。

- ・連動スケジュール
改ざん検出を行う時間帯を設定します。



マウスを使用して各曜日の緑のバーの長さを調整して保存します。数値で入力することも可能です。1日の中を複数に区切ることもできます。

・連動機能



- [基本]連動機能：全てのリンクにチェックを入れます。
- Eメール送信内容選択：メールサーバーにリンクしてメールを送信します。
- FTPへアップロード：FTPサーバーにリンクしてファイルを送信します。
- クラウドへアップロード：ファイルをクラウドに送信します。

10.4 異常検知設定(この機能は使用できません)

本機能は、カメラに I/O 出力がある場合に動作する機能なので使用できません。

10.5 ROI (Region of Interest) 関心領域

ROI は、重点的に見たい領域を指定してその部分の画質を向上させる設定を行います。この設定は、上級者向けの設定です。設定によっては、データ量が増加することがあります。



映像をマウスでクリックしたまま移動させることでリージョン（領域）を 3 箇所まで設定できます。相対 QP 値または QP 絶対値を選択して数値を入力します。

11. スマートイベント

11.1 侵入（さまよい不審者）検知

侵入（さまよい不審者）検知は、映像上に検知領域（四角形）を設定してその中に侵入した人を検知してアラームを発生します。



- エリアの設定
[エリアを描く]をクリックしてから、映像上でマウスをクリックして4点を指定して四角形を描き、警戒区域とします。4か所まで設定できます。
- 有効
チェックすると地域の侵入検知が有効になります。
- 全てのエリア
クリックすると全画面を検出エリアに設定します。
- すべてクリアー
クリックすると全ての検出エリアを消去します。
- アラーム発動時間
侵入から設定時間経過後に検知します。1～10秒まで設定できます。
- 感度
検出感度をスライドボリュームで0から100まで設定できます。数値が大きくなるほど敏感になります。
- 検出対象
歩行者、車を選択して指定します。両方指定することもできます。

- ・ 連動スケジュール
動作検出を行う時間帯を設定します。方法は、他のイベントと同様です。
- ・ 連動機能
検出時にアラームを発生する手段を設定します。設定方法は、他のイベントと同様です。

11.2 エリア侵入検知

操作は、10.1 侵入（さまよい不審者）検知と同様ですが、発動時間の設定はありません。検出対象がエリア侵入直後に検知します。

11.3 退席/退場検知

操作は、10.2 エリア侵入検知と同様ですが、エリア外に検出対象が出た場合に検知します。

11.4 ラインクロス検知

ラインクロス検知は、映像上にラインを引き、そのラインを超えた人を検出してアラームを発生します。ラインを超える方向による検出も設定できます。



- ・エリアの設定

[エリアを描く]をクリックすると赤いラインと[A]、[B]が表示されます。このラインの両端をマウスでドラッグして場所を変更して検出するラインの位置決めをします。4か所まで設定できます。

- ・有効

チェックするとクロスボーダー検出が有効になります。

- ・すべてクリア

クリックすると全ての検出ラインを消去します。

- ・検出対象

歩行者、車を選択して指定します。両方指定することもできます。

- ・方向

検出する方向を[A⇔B]、[A→B]、[A←B]の中から選択します

- ・感度

検出感度をスライドボリュームで0から100まで設定できます。数値が大きくなるほど敏感になります。

- ・連動スケジュール

動作検出を行う時間帯を設定します。方法は、他のイベントと同様です。

- ・連動機能

検出時にアラームを発生する手段を設定します。設定方法は、他のイベントと同様です。

11.5 徘徊検知

徘徊検知は、映像上に検知領域（四角形）を設定してその中に設定時間以上滞在した人を検知してアラームを発生します。



- ・エリアの設定
[エリアを描く]をクリックしてから、映像上でマウスをクリックして4点を指定して四角形を描き、警戒区域とします。4か所まで設定できます。
- ・有効
チェックすると徘徊検知が有効になります。
- ・全てのエリア
クリックすると全画面を検出エリアに設定します。
- ・すべてクリアー
クリックすると全ての検出エリアを消去します。
- ・発動時間
検知エリアに入ってから設定時間経過後に検知します。1～10分まで設定できます。
- ・感度
検出感度をスライドボリュームで0から100まで設定できます。数値が大きくなるほど敏感になります。
- ・連動スケジュール
動作検出を行う時間帯を設定します。方法は、他のイベントと同様です。
- ・連動機能
検出時にアラームを発生する手段を設定します。設定方法は、他のイベントと同様です。

11.6 群衆検知

群衆検知は、映像上に検知領域（四角形）を設定してその中に一定以上の人が集まった場合にアラームを発生します。



- ・エリアの設定
[エリアを描く]をクリックしてから、映像上でマウスをクリックして4点を指定して四角形を描き、警戒区域とします。4か所まで設定できます。
- ・有効
チェックすると群衆検知が有効になります。
- ・全てのエリア
クリックすると全画面を検出エリアに設定します。
- ・すべてクリアー
クリックすると全ての検出エリアを消去します。
- ・群衆密度
割合のスライダーで0から100まで設定できます。
- ・連動スケジュール
動作検出を行う時間帯を設定します。方法は、他のイベントと同様です。
- ・連動機能
検出時にアラームを発生する手段を設定します。設定方法は、他のイベントと同様です。

11.7 フェイス検出

フェイス検出は、映像上に顔が存在することを検出してアラームを発生します。

- ・ 感度

検出感度をスライドボリュームで 0 から 100 まで設定できます。数値が大きくなるほど敏感になります。

- ・ 検知させる最小のフェイスサイズを設定

フェイスの最少サイズを 1/10000 で指定します。0~10000 まで設定できます。

数字を入力して【表示】をクリックすると画面上に黄色い長方形が表示されて大きさを確認できます。

12. ストレージ

ストレージでは、クラウドストレージに関する設定を行います。この機能を利用するには、あらかじめ Google ストレージのアカウントを取得しておく必要があります。



- ・ クラウドストレージタイプ

Google を選択します。

- ・ クラウドストレージ URL

クラウドストレージの URL を入力します。

- ・ 認証コード

認証コードを入力します。

- ・ アカウント名

アカウント名を入力します。

- ・ 容量

クラウドストレージの容量を表示します。

- ・ 使用済み容量

使用している容量を表示します。

13. メンテナンス

13.1 デバイス情報



- ・デバイス名
デバイスの名称が表示されます。
- ・ファームウェアバージョン
カメラのファームウェアバージョンが表示されます。
- ・ウェブバージョン
WEB 表示のバージョンが表示されます。

13.2 FW アップグレード



- 手動アップグレード
手動アップグレードは、あらかじめファームウェアのファイルを PC 上にダウンロードしておく必要があります。

- ・FW ファイル
PC に保存されているファームウェアのファイルを選択します。[参照]をクリックすると PC 内のフォルダが表示されます。
- ・アップグレード実行
選択したファームウェアにアップグレードを開始します。

■ オンラインアップグレード

オンラインアップグレードは、インターネット経由で新しいファームウェアを検索してアップグレードを実行します。

- ・現在のバージョン
現在のファームウェアのバージョンを表示します。
- ・ 自動検出
チェックすると自動的に新しいファームウェアを検索します。
- ・オンラインで更新確認
[チェック実行]をクリックすると新しいファームウェアを検索して表示します。新しいファームウェアが存在しない場合は、何も表示しません。

13.3 工場出荷時へ戻す



- ・ 工場出荷状態に戻す (ネットワークパラメータを除く)
 をチェックして[適用]をクリックするとネットワーク設定を除くすべてのパラメータをデフォルトに戻します。
- ・ 工場出荷状態に戻す (ネットワークパラメータも工場出荷状態に戻ります)
 をチェックして[適用]をクリックすると全てのパラメータがデフォルトに戻ります。

13.4 自動再起動/手動再起動

カメラを長期間動作させる場合、定期的にカメラを再起動するように設定して、信頼性を高めることができます。



- ・このデバイスを再起動
[手動再起動]をクリックするとカメラが再起動します。
- ・自動再起動
この機能をオンにすると設定された時間 (毎月、毎週、毎日) に設定された周期に
ってカメラを再起動します。オフにするとカメラは自動的に再起動されず、連続動作
します。

13.5 設定保存/設定復元

複数のカメラに同じ設定を採用する必要がある場合、最初に 1 つのカメラを設定し、そのカメラの設定ファイルを「エクスポート」してバックアップし、その後「インポート」操作を通じてその設定を他のカメラに適用することができます。



- ・設定情報保存 (PC の“ダウンロード”フォルダへ保存されます)
[PC に保存]をクリックすると設定ファイルが PC のダウンロードフォルダに保存され
ます。

- ・機器パラメータのインポート

[参照]をクリックして設定ファイルのあるフォルダを開き、設定ファイルを指定して[取込実行]をクリックすると設定が反映されます。

【注意】 ブラウザの設定で、ポップアップを許可していないとダウンロード完了のウィンドウが表示されません。

13.6 ログ

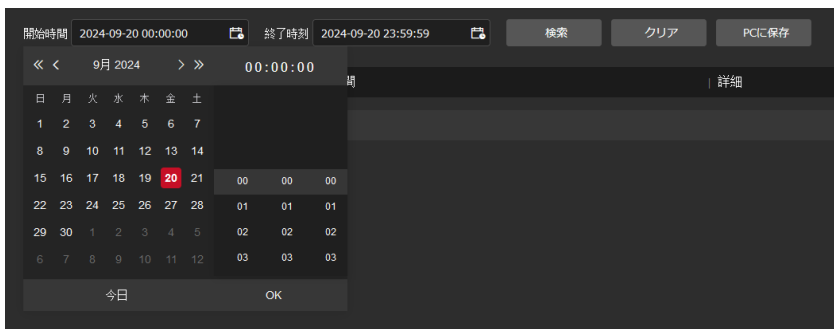
ログ機能は、カメラの動作記録を参照、保存する機能です。



- ・開始時間／終了時刻

開始時間の右側の枠をクリックすると以下のような画面が表示されます。カレンダーの日付をクリックして中央部の[00:00:00]にマウスカーソルを合わせてホイールを回すとそれぞれ時：分：秒の数値がスクロールしますので必要な時刻に合わせて[OK]を押して始まる時間をセットします。

終了時間も同様にセットします。



- ・ 検索
開始時間と終了時刻をセットして[検索]をクリックすると該当するログのリストが表示されます。
- ・ クリア
[クリア]をクリックするとログが全て消去されます。
- ・ PC に保存
[PC に保存]をクリックすると出力するログのタイプ[すべて選択]、[アラームログ]、を選択して[OK]をクリックします。ブラウザから「プログラムで開く」、「ファイルを保存する」などのメッセージが表示されるので処理方法を選択します。

